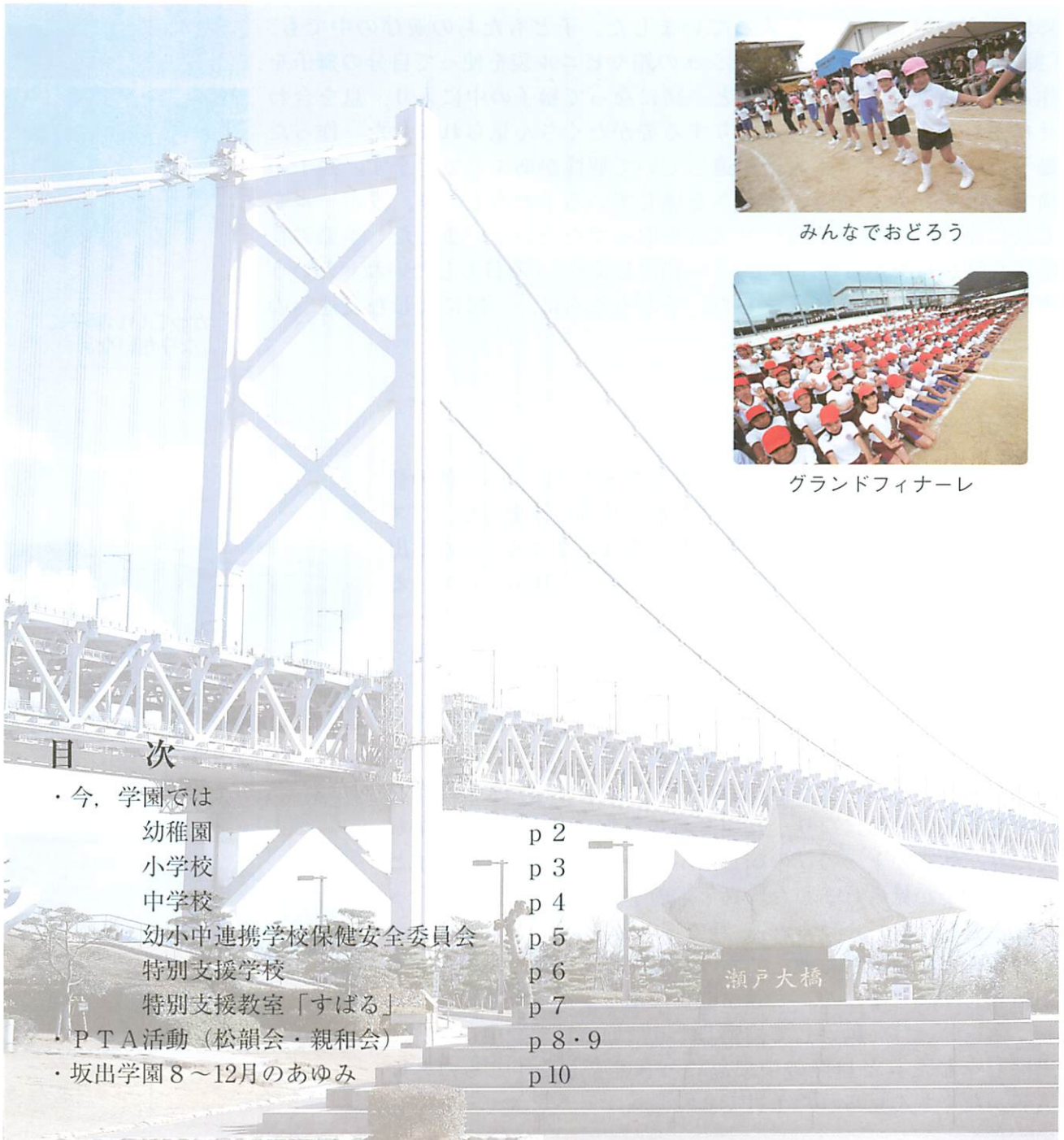


香川大学教育学部

# 附属坂出学園だより

第55号

2016.12



みんなでおどろう



グラウンドフィナーレ

## 目次

- ・今、学園では
  - 幼稚園 p 2
  - 小学校 p 3
  - 中学校 p 4
  - 幼小中連携学校保健安全委員会 p 5
  - 特別支援学校 p 6
  - 特別支援教室「すばる」 p 7
- ・PTA活動（松韻会・親和会） p 8・9
- ・坂出学園8～12月のあゆみ p 10

## 秋を感じながら

### ～獅子舞遊び～

園庭の木々の葉の色の变化に気付いたり、どんぐりやまつぼっくりを使ってまごとの料理を作ったり、秋の心地よい風を感じながら園庭に出て思いっきり鬼ごっこを楽しんだり…子どもたちはそれぞれに秋を感じながら遊び、秋を満喫していました。

10月にはいろいろな地域で秋祭りが行われ、幼稚園にも獅子が来てくれて獅子舞を間近で見ることができました。子どもたちは迫力ある獅子舞にくぎづけになり、見入っていました。子どもたちの遊びの中でも、「獅子、作りたい!」とティッシュの箱やビニル袋を使って自分の獅子を作ることを楽しんだり、友達と一緒にになって獅子の中に入り、息を合わせながら舞うことを楽しんだりする姿がたくさん見られました。作った獅子は一人一人素材や表情が違って個性があふれています。獅子の横で太鼓をたたくことに楽しさを感じている子どももおり、段ボールを太鼓に見立てて楽しそうにリズムを取ってたたいていました。季節の行事に心動かしながら遊ぶ中で、「一緒にしよう」「明日もしたいね」という声がたくさん聞こえてきました。子どもたちは、一緒に楽しむ友達への思いも膨らませていたようです。

コンコンチキ!  
獅子舞って楽しいな!



カッコいい獅子に  
なりたいなあ…

### ～遠足～

今年の遠足はバスに乗って『さぬきこどもの国』へ。朝の登園の様子からもわくわくした気持ちが伝わってきました。バスに揺られて『こどもの国』に着くと、きれいなコスモスがお出迎え。みんなで写真を撮って、まずは飛行機が展示されているところへ行き、実際に中に入らせてもらいました。コックピットを覗き込んで「うわあ、すごい!」と驚いたり、客席に座って窓の外を眺めて雲の上を想像したりと、心躍る体験となったようです。実際に飛び立つ飛行機に遭遇し、子どもたちは思わず飛行機と一緒に走り出していました。

待ちに待ったお弁当や遊びの時間。広い原っぱと大きな遊具に心も体も開放的になり、友達とお弁当やお菓子タイムを楽しんだり、秋空の下、のびのびと遊ぶことを楽しんだりする子どもたちの姿が見られました。異年齢の子どもたちが混ざり合って遊ぶ姿もたくさん見られ、遊具で遊ぶとき、小さい友達に「～してごらん」と優しく教えてあげるお兄さんお姉さんの姿もあり頼もしく感じました。大きな遊具にぶら下がったり登ったりして体をいっぱい動かして挑戦したり、原っぱで夢中になって虫探しをしたりと自然の中で思いっきり楽しむ子どもたちの笑顔がたくさん見られた1日でした。



わあ! 飛行機が飛びそう!



バツ、どこにいるかなあ

研究主題

# 学びに熱中する子どもの育成

—学習意欲を育て、他者と協働しながら考え続ける力を育む授業づくり—

本校では上記のテーマを設定し、学習内容に興味をもち、課題解決に向けて他者と協働しながら考え続ける子どもづくりに努めています。その授業づくりでは、これまでの研究成果を生かしつつ、学習意欲の視点で検討しながら、場面に応じた働きかけを取り入れています。今年度の教育研究発表会は、1月26日(木)、27日(金)に行います。先生方のご参会、また保護者の方のご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

## 研究授業

### 3年 理科「植物観察マスターになろう —どれくらい育ったかな—」

さいき ともや 済城 智哉



【学級園の植物を観察】

植物の形態は種類によって異なりますが、その体のつくりは、葉、茎、根から構成されていて、それぞれに特徴や共通性があります。これを子どもたちが捉えるために、まず、ホウセンカやヒマワリ等の自分が栽培している植物の体のつくりについて、どこが葉、茎、根の境なのかに着目しながら観察しました。その中で、「ホウセンカのたくさんの葉や花をつけているところが茎、土の中にある部分が根だ。」と、体のつくりを理解していきました。そして、「ヒマワリの体のつくりは、どうかな。」と、他の植物の体のつくりについても、興味をもって観察しました。その結果から、「ホウセンカとヒマワリは、葉の形や全体の大きさは

違うけれど、どちらも体のつくりは同じだ。」と、共通性を捉えていきました。

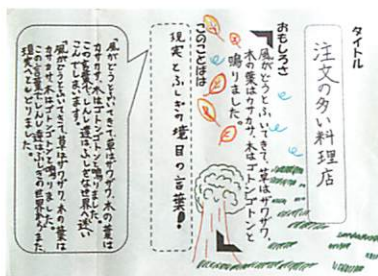
自分が栽培する植物についての課題が解決した後、「友達が育てている植物は、どうかな。」「学級園や校庭にある植物はどうだろう。」と、新たな問いが生まれ、それらを解決する場を単元内に位置づけました。子どもたちは、学級園等にあるさまざまな植物を観察し、「自分たちの植物と同じで、トマトにも葉、茎、根があるよ。」と、それぞれの観察結果をもち寄ることで、体のつくりの共通性をより広く適用させて考えることができました。



【もち寄った結果の交流】

### 5年 国語科「伝えよう、物語のおもしろさ 『注文の多い料理店』」

にしよし りょうじ 西吉 亮二



【くり返しの言葉に着目】

本単元では、宮沢賢治の作品の中でおもしろいと思った作品の一つを選び、その作品のおもしろさをポップにまとめ、友達に発信するという目的で物語を読んでいきました。ポップには、宮沢賢治作品でおもしろいと感じた叙述と、それについての自分の考えを書きます。ポップを作る中で、物語中の叙述と叙述の関係を読んだり、文脈と叙述の関係を捉えたりしながら、物語の表現や構成の工夫について自分の考えを創造する力の育成を目指しました。

本学級には、物語の学習に入る前から、「おもしろい本を見つけたら、その本を友達に紹介したい。」と思っている子どもが多かったです。このことから、本単元での子どもたちは、高い意欲をもっていました。それをさらに育てていくために、物語のおもしろさを

考える際、自分の感じたおもしろさの理由を詳しく考える時間を位置づけました。そうすることで、例えば「よだかの星」を読んだ子どもは、「空は青黒く」や「青い美しい光」という叙述から、「登場人物の気持ちを色彩を使って表している。」「それらの色は、よだかの苦しみや苦しみから解放された気持ちではないかな。」のように自分の考えを創造していきました。また、そのように自分の考えを創造した子どもたちが交流することで、自分では気付かなかった叙述のおもしろさを捉えながら、さらに考えを深め、よりおもしろさが伝わるポップを作ろうと試行錯誤する姿が見られました。



【おもしろさの理由を探索】

## 第5回 あじさいフェスティバル(文化祭)が開催されました!

あじさい: **あ**たらしい(**あ**いのある) **じ**ゆうときりつの **さ**わやかな **い**ばしょ

去る11月3日に、附属坂出中学校の文化祭が行われました。午前中には**総合学習CAN発表会・CAN賞受賞クラスターによる発表**、午後からは**文化部発表・各学年団発表**が行われました。

### 【最優秀研究 青雲賞】

#### 「手のあれないオリジナル石けんを作ろう」

3年: 黒川真衣さん 2年: 佐竹真由子さん 1年: 高橋れみかさん  
冬になると手荒れに悩まされていたことから、洗浄効果と保湿作用の両方を兼ね備えた石けんの開発研究を行いました。探究サイクルを確立していることや試作品をいろいろな人にモニターとなってもらい、豊富なデータをもとに改善をしているところが、高く評価されました。



### 【優秀研究 CAN賞】

「clean発電研究所～地球に優しい火力発電とは?」 3年: 高橋さん 2年: 粉川さん 1年: 藤田さん  
「KSK～状況による人の心理変化って?」 3年: 岡本さん 2年: 平岡さん 1年: 平田さん  
「オーブ〇〇で香川をPRしよう!」 3年: 小林さん 2年: 大麻さん 1年: 横田さん  
「音楽を使ってストレスがなくなる?」 3年: 高木さん 2年: 山際さん 1年: 徳田さん

### 【部門賞】

課題設定力賞 「小さい子がすぐ眠る絵本を作ろうプロジェクト」  
3年: 神余さん 2年: 松浦さん 1年: 田中さん

課題追究力賞 「坂出Book Researches ～SBR～書店の傾向を探ろう」  
3年: 稲田さん 2年: 羽原さん 1年: 藤岡さん

表現力賞 「見たら笑顔になるような写真はどやうやって撮るのか?」  
3年: 岩井さん 2年: 滝上さん 1年: 赤垣さん

チームマネジメント賞 「見た目がかわいいふわふわパンケーキを作ろう Part2」  
3年: 平尾さん 2年: 萩尾さん 1年: 宮崎さん

**新**イグ・青雲賞 「スペースバルーンを使って上空から坂出市を撮ろう」  
3年: 大西さん 2年: 藤原さん 1年: 芳野さん

**新**校長特別賞 「KSK～状況による人の心理変化って?」  
3年: 岡本さん 2年: 平岡さん 1年: 平田さん

他にも「バッテリーを作ろう」や「年間少年附属～どんなキャラクター構成のマンガが売れるのか?～」など、21クラスターの研究に研究奨励賞が贈られました。



### 文化部発表



英語部



吹奏楽部



美術部

### 各学年団発表



3年団合唱



## 幼小中連携学校保健安全委員会が行われました！

10月27日（木）、附属坂出中学校武道館にて幼小中連携の学校保健安全委員会が行われ、保護者の方19名、学校医や学校カウンセラーの先生3名、教員6名が参加しました。今回は、ネット支援員の十河靖典先生をお迎えし、次のようなテーマで研修しました。

### 子どもと携帯電話の向き合い方 — 家庭・学園全体でルールを作ろう —

今は、携帯電話だけでなく、ゲーム機や音楽プレーヤーの通信機能を使って、子ども同士が頻繁にやりとりをするようになっていきます。ネットを通じたいじめが問題になっており、最近では大人とのやりとりで子どもの写真が流出したり、子どもが有害情報を見たりする事案が増えています。

講師の十河先生からは、「約4割の会社が採用の際、TwitterやFacebook等のソーシャルネットワークシステム（SNS）をチェックしている」「親のSNSを子どもが見

る時代になった」「一度流出した画像は元に戻らず、知人によって個人も特定されてしまうので、子どもがネットと関わり始めた今、きちんと管理するルールづくりが必要」とのことでした。お子さんがどんなやりとりをしているか、どんな画像を保存しているか、保護者の方はご存知でしょうか。それを見せられるような関係づくりが大事であり、十河先生からは、「今日家に帰ったら、ぜひお子さんとハグをしてください。そして、『写真を見せて』と言ってください。」との話もありました。

学校カウンセラーの堀間先生からは、「心が安定するよう守る機能の一つに『同一化』がある。中学生くらいからは、自我同一性の確立が必要と言われており、昔はテレビからあこがれの対象を見つけて『同一化』を図っていた。最近はネット上から見つけている。」との話がありました。

また、学校医の佐藤先生からは、「診察中に携帯が鳴ると、それに出る人さえいる。現代ではネットを無にすること、ネットから逃げることはできないので、保護者の方が勉強した上で、お子さんを指導することが大切である。」「同じ1時間のネットでのやりとりを、自分の部屋ですると家族みんながいる部屋でするとでは、内容が大きく違ってくる。」とのことでした。

グループでの話し合いでは、家庭でネット利用をする際のルールづくり、子どもとの関わり方等について意見を交わしました。互いに質問したり、悩みを相談したりしながら話は尽きることなく、活発なやりとりが行われました。

このように、連絡進学をする3校園が合同で保健安全委員会を行うことで、保護者の方が見通しをもって子どもの心や体について考え、話し合ったり、アドバイスを聞いたりすることができます。来年度もこの幼小中連携学校保健安全委員会を行う予定ですので、その際はぜひご参加ください。

お子さんの携帯電話の  
使い方、大丈夫ですか？



11月27日（日）に行われたふれあい祭りでの各部の様子を紹介します。

## 小学部

**ステージ発表** 今年も、府中小学校の4年生と一緒に、合唱「トライエブリシング」と合奏「パフ」をしました。元気よく歌ったり踊ったり演奏したりできました。



**ふれあいゲーム大会** 地域のボランティアの方々のご協力をいただき、府中小学校のお友達と一緒にゲームを楽しみました。的当てやボウリング、くじ引きなどして、お友達とたくさんふれあって楽しいひとときを過ごすことができました。



**作品販売** ビーズストラップ、メモ帳、壁飾り、カレンダーなど、子どもたちの手作り作品を販売しました。丹精込めてつくった作品はとっても味のある物で、お客さんたちにも大盛況でした。売り上げは、お楽しみ会のために使います。

## 中学部

**ステージ発表** 今年も、音楽の授業中に生徒が動きを考え、練習を重ねてきました。当日は、ばちを使って、力強いダンスを披露することができました。



**ふれあい工作** NPO法人ELF丸亀理事の前田先生にご指導いただきながら、輪ゴムで動くおもちゃ（糸車、体操人形）を作りました。体操人形作りでは、生徒が思い思いの顔を描き、個性豊かなおもちゃを完成させることができました。



**バザー** 農耕班では野菜、紙すき班ではカレンダーやブックマーク、陶芸班ではお皿や花ポットを販売しました。たくさんのお客様にきていただき、作業学習で作っている製品を直接お客様に販売する貴重な体験をすることができました。

## 高等部

**模擬店** 毎年、好評を得ています喫茶「まうんでんぴーち」に今年も、たくさんのお客さんが来てくださいました。お客様に喜んでいただくことを目標に、バックヤード係は、おいしいコーヒーの入れ方を学習したり、注文を聞いて、抹茶味やチョコ味のドーナツをお皿に乗せて準備する練習をしたりしました。接客係は心を込めた丁寧な受け答えを練習し、当日は、笑顔で案内や注文を聞き、対応することができました。今年は、現場実習先の方がたくさん来てくださり、現場実習先での生徒たちの頑張りがうかがえるうれしい再会場面が見られました。



**現場実習報告コーナー** 2週間前まで現場実習をしていた生徒の頑張りを見ていただき、小・中学部の皆さんにも実習について知っていただく今年度新たに、「現場実習報告ビデオ」を上映しました。思いのほかたくさんの方が、実習に取り組む生徒の真剣な様子を食い入るように見てくださっていました。



**バザー** 農耕班・家政班・窯業班の三つの作業班が工夫を凝らした作品を販売し、お客さんとやり取りする中で多くの笑顔が今年も見られました。

## 特別支援教室「すばる」の研究活動から

平成28年9月17日から19日の3日間、朱鷺メッセ他において日本特殊教育学会第54回大会が開催されました。“インクルーシブ教育の時代におけるSpecial Education”の大会テーマのもと、各種シンポジウムや口頭発表、ポスター発表が行われました。

本教室からは、「漢字の形態分析に弱さが見られる児童への漢字指導」というテーマでポスター発表をしました。この研究では、漢字の形を細部まで見て形を捉えて書くことが難しい子どもに対し、漢字学習課題と漢字学習ではない細部への注意を意識的に向ける課題をセットで行うことで、漢字を正確に書くことができるか検討しました。新聞などで見かける「二つの絵の違い探し」を漢字学習ではない課題として使用しました。漢字の形を言葉にして覚える課題となぞり書き、絵の違い探しを指導したことで、対象児童は漢字を覚えて書くことができました。

当日の会場では、多くの先生方からご質問やアドバイスをいただきました。今後は、同様に書くことに難しさがある子どもたちにも有効な指導方法であるか検証し、研究を発展させていきたいと考えています。

**漢字の形態分析に弱さが見られる児童への漢字指導**  
 -意識的に形態の細部への注意を向ける課題を含ませた指導-

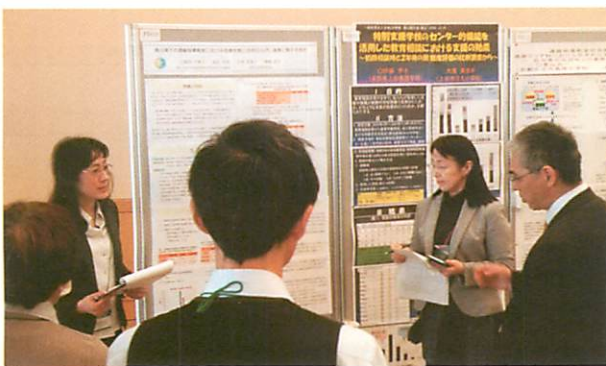
〓 富永 大樹 (香川県立香川高等学校) 〓 武蔵 博文 (香川県立香川高等学校)

**本研究の目的**  
 漢字指導と漢字学習ではない細部への注意を意識的に向ける課題を設けておくことで、漢字を正確にとらえることに影響を与えたかを検討する。

**方法**  
**対象児童**  
 漢字学習に困難を示す児童5名(5-6年生)。  
 指導者(指導者)は、漢字の形態分析に弱さが見られる児童を対象とした。漢字の形態分析に弱さが見られる児童を対象とした。漢字の形態分析に弱さが見られる児童を対象とした。  
**指導方法**  
 漢字の形態分析に弱さが見られる児童を対象とした。漢字の形態分析に弱さが見られる児童を対象とした。漢字の形態分析に弱さが見られる児童を対象とした。  
**結果**  
 漢字の形態分析に弱さが見られる児童を対象とした。漢字の形態分析に弱さが見られる児童を対象とした。漢字の形態分析に弱さが見られる児童を対象とした。  
**考察**  
 漢字の形態分析に弱さが見られる児童を対象とした。漢字の形態分析に弱さが見られる児童を対象とした。漢字の形態分析に弱さが見られる児童を対象とした。

平成28年11月18日から20日の3日間、パシフィコ横浜において一般社団法人日本LD学会第25回大会が開催されました。本大会は、“発達障害の子どもと家族”の大会テーマのもと、講演会や各種シンポジウム、口頭発表、ポスター発表が行われました。

本教室からは、ポスター発表を2本行いました。2本のうち1本は、「香川県下の通級指導教室における指導形態と内容ならびに連携に関する現状」というテーマで発表しました。この研究では、香川県の通級指導教室の指導形態や教育課程等の現状を明らかにすることにより、通級指導の今後の課題について検討することを目的としました。具体的には、香川県内の小学校通級指導教室の担当者に対して、指導形態(自校通級、他校通級、巡回指導)や教育課程(「自立活動」と「教科の補充」)、個別の指導計画作成における教員間の連携や、他機関との連携等の内容について質問紙調査を実施しました。本発表では、調査の結果と今後の課題について報告しました。質疑応答では、参加者と他県の取組について情報交換を行うことができ、有意義な時間となりました。今後は、中学校に通級指導教室が設置されていない香川県において、通級対象児に対して継続した支援を実現するために、連携の必要性と方法について検討したいと考えています。



## 幼稚園より

## 幼稚園【OYG企画】 園庭で遊ぼう

第2回OYG企画「園庭で遊ぼう!」が11月3日(木)文化の日に催されました。未就園児から小学生までの子どもたちとその保護者80名余りが集まり、綱引きや玉入れ、しっぽとり競争などをして楽しく過ごしました。いつもの園庭でお気に入りの遊びをする子どもたちでにぎわいました。

リズム室では、保護者手作りのストラックアウトやボウリングなどを楽しみました。小さな子どもから大きな子どもたちまで何回も並び直し、夢中になって遊んでいました。保護者もたくさん子どもたちとふれあい、また保護者同士の交流も深まり、すてきな時間を過ごすことができました。

最後にお父さんが体操のお兄さんになりきって「エビカニクス体操」を全員で行い、さわやかな汗をかきました。とても有意義な一日でした。



## 小学校より

## 全附連絵画コンクール

夏休みに実施された全附連絵画コンクールで、5年生の西川祐永さんの作品が、小学校高学年クラス「折り鶴賞」に選ばれました。全国クラスでの入賞、おめでとうございます。



## 土曜メンテナンス

11月12日(土)、恒例の土曜メンテナンスが行われました。今回は、幼稚園、中学校にも参加を呼びかけ、総勢70名余りの参加となりました。

仕事を分担して、運動場への土入れから、歯ブラシスタンドのねじ締め、図書室の本の整理など、幅広く実施できました。今回の土曜メンテナンスを通じて、学校施設の整備ができるだけでなく、保護者と先生方とのコミュニケーションの場になりました。

## 土曜クラブOYG「逃走中」

11月19日(土)、OYGの主催で、今年も小学校を舞台に「逃走中」が行われました。去年は、雨天により予定を一部変更しましたが、今年は何んとか天候にも恵まれ、児童約100名、保護者約90名が参加し、予定通りの内容を実施しました。運動場や松風園を児童やハンターが元気に走り回り、いつもと違う接し方で、充実した時間を過ごしました。児童たちはもとより、参加した保護者、先生方のキラキラとしたさわやかな笑顔が印象的でした。





## 中学校より.....

### 学校保健安全委員会

10月27日（木）、中学校武道場において幼稚園・小学校・中学校合同の学校保健安全委員会を開催しました。

今年は「子どもと携帯電話の向き合い方」をテーマに、附属の小中学生の実態・さぬきっ子安全安心ネット指導員の方からの講演を聞き、グループワークを行いました。

親世代と時代背景が大きく違い戸惑うことが多い中、避けては通れない問題であり、保護者としてこれからできることは何かを話し合いました。

親子で利用のルール作りや、フィルタリング・アプリ設定などが必要であり、日頃から親も携帯電話について学ぶこと・親子のコミュニケーションを取り信頼関係を築くことの大切さが挙げられました。

幼・小・中合同で行うことにより、幼稚園・低学年の保護者の方には先の課題などが見え、またアドバイスが聞けるといいう、附属学園ならではのメリットがあります。毎年開催しておりますので、多くの方の参加をお待ちしております。



## 特別支援学校より.....

### ボウリング大会

## 親和会

毎年夏休みに体育館でスポーツ大会を開催していましたが、暑い時期に体育館内で活動することは熱中症の危険があるということで、冬に開催していたボウリング大会を今年度から夏休みに行うことになりました。

今年度のボウリング大会は、7月31日（日）の10:00～坂出中央ボウルで行い、大人9名、子ども24名、先生方3名の大勢の参加があり、盛大に開催することができました。ゲーム中は、あちらこちらで、「ストライク!」「どんまい」と大きい声で友達に声援を送り、声援をもらった子どもたちは、「よーし」と頑張っていました。子どもの部、大人の部でそれぞれ上位の方には表彰があり、景品も贈られました。



余暇活動の一つとして、夏休み中の一日を親子で有意義に過ごすことができたと思います。今後とも続けていきたいと思っておりますので、皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 野球部四国総体3位

野球部は、7月に綾坂総体、県総体と見事優勝して、全国大会出場をかけた四国総体に、8月3日(水)、4日(木)に出場しました。1回戦は高知中学校と対戦して、3年生の中澤くんのヒットにより2対1でサヨナラ勝ちを収めました。全国大会出場をかけた準決勝は、地元の鳴門市立第一中学校と対戦し、惜しくも0対4で負けて、全国出場の夢は後輩たちに託されました。野球部の活躍は、生徒や教員、保護者の皆さんに勇気や希望を与えてくれました。



本校の運動部や文化部の活躍がますます楽しみです。

### 一票の重みを学びました

10月7日(金)任期満了に伴う生徒会役員改選が行われました。各候補者は、登校時間に正門であいさつ運動を行ったり、昼食時間に各教室を訪れて自分の主張を伝えたりと、意欲的に選挙活動を展開しました。立会演説会では、どの候補者も堂々と自分の考えを発表していました。投票は、市長や国会議員の選挙でも使用されている投票箱を坂出市からお借りし、厳粛な雰囲気の中で整然と行われ、清き一票を投じました。新生徒会によって、附属坂出中学校が全校生一人一人にとって、ますます愛のある自由と規律のさわやかな居場所となることを期待しています。



## 中学校

### 緑化事業式典

夏休み中に学級園周辺の緑化や整備が行われ、9月7日、事業完成の記念式典が行われました。全国のコンビニエンスストア「ローソン」に設置されている「緑の募金箱」に集まった善意の募金は、その一部が学校緑化事業支援に活用されており、今回は本校が対象に選ばれました。バラのアーチを取り替えて、流水実験場所を併設したピオトープ設置、サクラの植樹、古くなったフェンスの撤去などで、総額50万円もの支援を受け、学校としても大変助かりました。



学級園では、各学級が野菜や花を育てており、収穫した食材で調理実習や野菜パーティーをしたり、理科の観察をしたりしています。どの学級も水やりや草抜きなどの世話を丁寧にしており、自然に親しむ場所として役立っています。今回の事業により機会として、子どもが自然に触れる機会をさらに増やし、環境を大切にすることを高めていきたいと考えています。



## 小学校

### 特別支援学校

#### 親子給食会がありました

11月15日(火)、小学部1年、中学部1年、高等部1年を対象に親子給食会が開催されました。保護者の方には、配膳の様子や食べ方、後片付けの仕方など学校での給食の様子を見ていただくよい機会になりました。また、親子で一緒に給食を食べることで、自分の学生時代を思い起こすなど、子どもたちとの会話も楽しく弾んでいました。感想の一部を紹介します。

「家での食事とは違う様子を見ることができてよかったです。時間や周りを意識して行動している様子がうかがえました。子どもたちが自主的に動いているのに驚きました。と同時に成長を感じてとてもうれしくなりました。」



「量がかなり多いので驚きました。でもさすがに食べ盛りの中学生です。味付けもおいしくいただきました。本来、食事とは楽しいものなので、机を輪にして顔を見合わせながら食べるのはよいと思います。」



「高等部にもなるとすっかり慣れて、自分の分担作業をきちんとこなし、落ち着いて給食の時間を過ごしていたと思います。成人しても楽しく食事ができるように、家庭での食事のときにできることを増やしていければと思います。」



今回の親子給食会の実施が、バランスのよい食生活や家庭での食事を考える一つのきっかけとなることを願っています。

### 幼稚園

#### 親子で一つのか・た・ち ～陶芸づくり～

年長児親子で花瓶づくりにチャレンジしました。藤藤敏子先生の楽しいお話を聞きながら、「○○の形を作りたい」「～してみたら～」とお家の方とのイメージを伝え合って、世界に一つだけの大切なものができました。製作中、真剣なまなざしやほほえみ合い、工夫を凝らすがんばりの姿から、いろいろな思いが通じているのを感じました。「できた!」という喜びの声の奥には、楽しさや嬉しさが伝わってきました。



土粘土が、あら不思議!

焼き上がった花瓶には、どんな花が飾られるでしょうか。家族で楽しめるといいですね。

#### 楽しいな、読み聞かせ

年中組では、絵本ボランティアをお家の方がしてくれています。子どもたちが楽しいひとときを過ごせるようにと、子どもの生活や好きなこと、季節などを取り入れて、毎回セレクトした絵本を楽しく読んでくださいます。子どもたちは、読んでもらうことが大好き。お話の世界に入り込んで、笑顔がこぼれたり、じっと見つめたり耳を澄ませたり…。友達と一緒に空気を感しながら心を動かしています。また、お家の方の温かく楽しい言葉かけがすてきで、子どもたちの心に残っていることでしょう。次も、また楽しみです。



さあ次はどなるのかな。



手作り絵本 わくわく

#### 編集後記

10月4日付け「四国新聞こどもニュース&スポーツ」に、附属坂出小学校の学校紹介が掲載されました。この記事はプロ記者の指導の下、5、6年生8名が書いた原稿が基になっています。

編集会議では、学校の特色が分かるメイン記事を何にするか、じっくりと話し合いました。子どもたちは意見を交わしながら、多くの候補から絞っていき、結局「合同運動会」と決めました。他にない独自性、幅広い校種や学年による協力、心の成長、これらは自信をもって紹介できると考え、記者の方も同意見でした。60年以上続いているこの行事は、大人になってからも意義を再確認できるものだと思います。今後も、大切に守っていききたいものです。

2学期も、保護者をはじめ関係の方々の温かいご支援をいただき、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

発行年月日：2016年12月20日

発行事務局：香川大学教育学部附属坂出小学校内

倉野 晴代 (附属幼稚園)

樽本 導和 藪内 雅昭 (附属坂出小学校)

小林 理昭 大西 光宏 (附属坂出中学校)

合田 卓生 妹尾 恭子 (附属特別支援学校)